

8000食分の炊き出しにも対応 給食センターが完成 北広島

大規模な災害に備えて、北広島市は8000食分の炊き出しにも対応できる給食センターを整備し、9日、完成を祝う式典が行われました。

北広島市大曲地区に建設された防災食育センターは、市が新たな防災拠点として3.2億円あまりをかけて整備しました。

9日行われた記念式典には地元の関係者などおよそ60人が出席し、上野正三市長が「日本各地で豪雨や台風、地震などの災害が相次ぐ中、防災や食育を推進する施設として市民の安心・安全のシンボルとなるよう取り組んでいく」とあいさつしました。

施設はふだん給食センターとして稼働し、市内の8つの小学校に向けてあわせて3000食分の給食を作ることにしています。

一方、大規模な災害に備えて貯水タンクが設けられ、コメなどの食料が備蓄されていて、非常時には8000食分の炊き出しを3日間、提供することが可能だということです。



(2024年7月9日 NHK北海道 NEWS WEB)

we support!
RQ
災害教育センター

MONTHLY

「東北に黒糖を送ろう! 大作戦しんぶん」改め
復興支援「すけさきた」しんぶん

「すけさきた」とは宮城県登米市あたりの言葉で「ボランティアに来たよ」という意味である。

AUGUST 11 2024



目標が見える・成果が伝わる



復興のとき

国土交通省 北陸地方整備局 能登復興事務所 Noto Reconstruction Office

復旧・復興の進捗情報 ホームページ
復旧・復興の今を発信 エックス(旧ツイッター)
若手職員による現場紹介 YouTube
現場から見える奥能登の魅力 Instagram

地震で隆起した海岸を活用し、1車線通行確保。引き続き、2車線通行確保に向け、工事推進中。復興への一歩につなげるよう道路をつなげています。」という状況報告の一文が添えられています。

先の見えにくい復旧の足元に小さな光をかざす「目標が見える、成果が伝わるポスター」は現在17種類。能登復興事務所の広報ページですべてを見ることが出来ます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/notofukkou/kouhou.html>

メッセージポスター

メッセージポスター

【道路】

さあ、復興のとき 復興のとき 復興のとき 復興のとき 復興のとき

トンネルの先 絶対海道 絶対海道 絶対海道 絶対海道

【河川・砂防・海岸】

流れを断ち切る 復旧の復興の力 安全と安心 美しい海との生活

施設の敷地内には、停電時でも対応できるように自家発電の機械が設置されているほか、地震などで道路が寸断された場合でも救助活動や物資の供給などを行えるようヘリポートが整備されています。

北広島市の防災食育センターは小学校の2学期が始まる来月下旬から本格的に稼働する予定です。

すけさきた5月号で紹介した「白米千枚田近くの国道の国道249号迂回路」の写真の大きく載せたポスターは、国交省北陸地方整備局能登復興事務所によるもの。「さあ、復興のとき」という力強いメッセージの側には、「令和6年以内に2車線通行確保予定」という目標と、「輪島市野田町。令和6年5月に

資料：NHK北海道 NEWS WEB、国土交通省北陸地方整備局能登復興事務所